

令和の  
日本型教育

全ての子どもたちの可能性を引き出す、  
個別最適な学び 協働的な学び

主体的、対話的で  
深い学びの実現

教科

「できる事実」で学力を向上させ、「学びあう学習」で学ぶ楽しさを実感させる授業づくりを推進する。また、「授業で力をつける」を中心に据えた教育活動で生徒の資質・能力の育成、全人的な発達を保障する。

道徳

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

教職員 公教育の担い手としての責務

生徒会 生徒が主人公の学校づくり

PTA 子育ての共同体としての学びあい

教育目標

自律で自立と共生

知力	よりよく生きるための知力 最適解の追求
徳力	相互尊重 柔軟な思考・態度
体力	基盤となる健康・体力

重点

- ①学習内容の確実な定着で生徒一人一人に全国水準の学力を身に付ける。（「資質・能力を育成する学力保障」～OVER70の実現・12年間継続する学力保障～）
- ②「拓中共通指導事項」の徹底と自律力向上をねらう教育活動で個の成長・集団の成長を図る。
- ③生徒指導の三機能を活かし、「授業で力を付ける」ための実践的研修の充実。
- ④「学力向上プラン」に基づく検証改善サイクルの確立。（ショートスパンサイクルの実行）
- ⑤社会に開かれた教育課程・変化に対応できる教育課程とカリキュラムマネジメントの推進。
- ⑥学習効果を高める、学びを止めないICTの活用。
- ⑦教育活動の見直し、業務改善による働き方改革の推進。

研究主題

生徒の学力を定着させ、  
「できる」で見取る授業の改善  
～ 主体的・対話的で深い学びの  
視点に立った学習指導を通して ～

総合的な学習

地域の特色を生かした学習や体験的学習などを通して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。

特別活動

「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」の3視点に立ち、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して資質・能力を育成する。

R4対応課題

- ①学習指導要領の確実な実施と学習評価の充実。
- ②業務の見直しと時間外勤務削減目標数値の実現。
- ③感染症予防の徹底と柔軟な対応、確実な教育活動の推進。

指導の基本

徹底と継続

基本的生活習慣や学習規律、家庭学習習慣、自治活動などを定着させる。やるべきことをやるべき時に最後までやらせる。当たり前のことを当たり前。小さなことを妥協せずに指導をやりきる。

優しさと厳しさ

小さな頑張り（変化）を見逃さず、努力を認めて称える。良さを発見できるように努める。叱るべき時は愛情を持って叱る。その行為（言動）を振り返り、考えさせ、以後につなげる。



猿払村立拓心中学校



励みあり

力あり

翼あり

拓心中学校校歌

作詞 坂本 亮  
作曲 渡辺日出男

一 潮ざい 遠き オホーツクに  
光れ 波の穂 かぎりなく  
目ざして 集う 朝々の  
若き 学びに 励みあり  
猿払立拓心中学校

二 緑の 森と湖に  
通え そよ風 いついとも  
たゆまず 進む よき丘の  
若き 足並み 力あり  
猿払立拓心中学校

三 あすの目 思い はかるとき  
仰げ あかねの 夕空を  
競いて 描く 未来図に  
若き 望みの 翼あり  
猿払立拓心中学校

〒098-6234 北海道宗谷郡猿払村鬼志別北町184番地 (N45.3 E142.1)  
Tel : 01635-2-3231 Fax : 01635-2-3280  
E-Mail : takushinchi@school-sarufutsu.jp  
HP : https://takushin-jhs.sakura.ne.jp



学校HP



# I 校区の状況

日本で2番目に広い村が猿払村です。拓心中学校は、役場所在地である鬼志別地区にあります。



本校は、1985年(昭和60年)に、浜猿払中学校、鬼志別中学校、知来別中学校の統廃合の末、村唯一の中学校として誕生しました。

校下には4小学校(鬼志別小・知来別小・浜鬼志別小・浅茅野小)があります。校区が非常に広いため、およそ6割の生徒がバス通学をしています。

村の基幹産業は酪農業及び水産業です。一次産業とそれに関連する事業に従事する方が多い村です。

# II 生徒・教職員

【生徒在籍状況】

	鬼志別	浜鬼志別	知来別	浜猿払	浅茅野	芦野	合計
1年	9	6	3	2	3	3	26
2年	13	8	3	2	3	0	29
3年	12	10	3	0	1	3	29
合計	34	24	9	4	7	6	84

【教職員】

職名	氏名	担任	教科	分掌	部活動
校長	藤田 淳				
教頭	皆森 伸一			総務	
教諭	丹治 和哲	1年担任	国語	研究	野球
	児玉 麗楽	1年副担任	技家美	研究	文化
	山下穂乃華	2年担任	英語	研究	剣道
	土岐 雄二	2年副担任	保健体育	生徒指導	野球
	伊藤 努	2年副担任	数学	教務	バドミントン
	能村 遥	3年担任	社会	研究	バレー
	吉田 拓矢	3年副担任	理科	教務	バドミントン
	上田 雄大	特支担任	特支全般	生徒指導	バレー
	中島 祐貴	特支担任	特支全般	教務	剣道
佐々木 悠	特支担任	校務・課	生徒指導	文化	
養護教諭	竹森 聡子			生徒指導	
事務職員	大村真生子			事務	
A L T	Factor.Garret.Levi				
公務補	久保 孝行				

校外班	鬼志別	土岐、山下、能村、丹治
	浜鬼志別	上田、中島、伊藤
	知来別	竹森、佐々木、児玉
	浅茅野	吉田、大村

# II 猿払村の特色



【猿払村の基本理念】  
「心豊かでステキな人がいる村」  
猿払村の東はオホーツク海の海岸線、西は丘陵性山地を境に豊富町、南は幌延町、浜頓別町、北は稚内市に隣接しています。村としては北海道で一番広く、総面積の約8割が山林や原野であり、手つかずの自然がたくさん残っています。

猿払(サルフツ)の語源はアイヌ語の「サロプト」「サラブツ」から転化したもので『葦(芦)川口』『葦(芦)原の河口』を意味しています。  
猿払村の天然ほたて貝の水揚量は、日本一を誇るまでに安定成長を重ね、毛ガニやサケ、マスと同様にオホーツク海の大自然の恩恵を受けた「さるふつブランド」として有名です。また、漁業と並んで村の2大基幹産業としての酪農業の地位が確立されています。海の幸、山の幸、牛乳、肉などに恵まれた村です。(猿払村役場HPより)



# IV 主な行事

4 年度初め休業、着任式・始業式・入学式、1年生を迎える会、全学年学力テスト、PTA三役会、全国学力・学習状況調査、参観日・PTA総会・学級懇談会、夏季日課開始、生徒総会

5 保護者面談、学校運営協議会、1・2年宿泊研修、避難訓練、部活動保護者会議

6 Q-U検査、宗谷地区中体連陸上・柔道・剣道大会、定期テスト、宗特協猿払交流会

7 宗谷地区中体連球技大会、3年三者面談、参観日・懇談会、1学期終業式、夏季休業、夏の学習講座

8 夏季休業、学校閉庁日、始業式、体育祭

9 2年防災学校、赤ちゃん抱っこ体験、漢字検定、村P連研究大会、修学旅行、職場体験、3年学力テスト、避難訓練、定期テスト、学校運営協議会

10 英語検定、英語I B Aテスト、3年学力テスト、学校祭、冬季日課開始、3年保育実習

11 村文化祭、管内PTA研究大会、Q-U検査、全学年文協テスト、生徒会役員選挙、三者面談、定期テスト

12 3年学力テスト、手をつなぐ子らの作品展、開校記念日、生徒総会、終業式、冬季休業、学校閉庁日

1 冬季休業、冬の学習講座、始業式、3年学年末テスト、英語・漢字検定、PTA三役会、3年参観日・懇談会

2 全学年学力テスト、公立高推薦入試、新入生説明会、私立高入試、1・2年学年末テスト、1・2年参観日・懇談会

3 PTA三役会、公立高入試、3年生を送る会、卒業式1・2年学年末面談、修了式・離任式、年度末休業

# V 開校・沿革

昭和22年、戦後の学制改革により、自治体、地域住民の熱意と努力によって、鬼志別中学校、その分校として知来別中学校、浅茅野中学校、浜猿払中学校が設立されました。

その後、産業経済の発展とともに開拓入植、炭鉱開発との関係もあって、上猿払中学校、石炭別中学校、狩別中学校、小石中学校が次々と新設されました。

昭和40年頃から、地場産業の衰退と激しい過疎化現象によって、児童生徒の激減が起こり、学校の統廃合を余儀なくされました。相次ぐ統廃合の結果、残った鬼志別中学校、知来別中学校、浅茅野中学校を統合し、昭和60年4月、村唯一の中学校となる拓心中学校が新設されました。開校当時の生徒数は150名でした。

屋内体育館の完成を待ち、同年12月8日に校舎並びに体育館の落成式が行われ、この日を開校記念日としました。

昭和60年4月	開校式
12月	校舎・体育館落成式典
61年12月	開校記念日制定(12月8日)
63年5月	グランド開き
平成元年6月	管内教育研究集会
8月	全国子育て研究大会どろんこ広場
3年7月	オジョルスキ村交流(～16年)
6年12月	開校10周年記念式典
17年11月	アスベスト除去工事
18年4月	二期制開始(～令和元年)
19年3月	校舎大改修工事終了
23年8月	オジョルスキ交流(～27年)
26年11月	開校30周年記念
令和2年2月	新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業・分散登校
令和3年度	新型コロナウイルス感染症への対応



# VI 校章

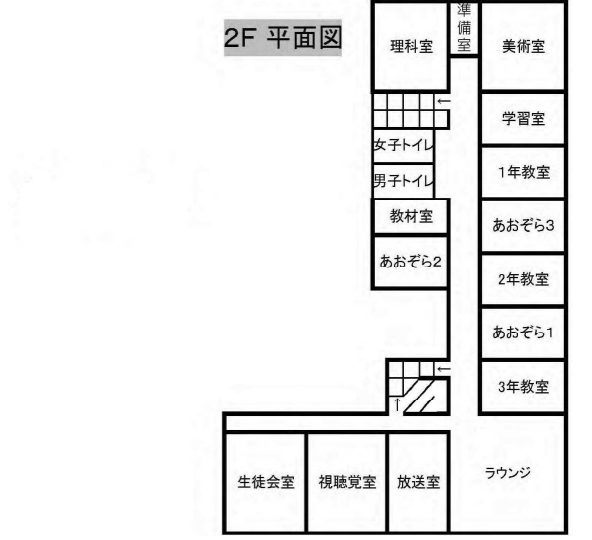
朔北の厳しい自然の中、営々として猿払村を築き上げてこられた先人の開拓魂を受け継ぎ、郷土の開拓・発展と己の心を切り開く意を「拓」の文字に託し、それを向学の意を込めた「ベン」と「猿払の自然」で包み込みました。緑は「豊かな牧野」を、青は「恵みのオホーツク海」を象徴しており、外枠の形は未来へのはばたきを意味しています。(江川千恵子教諭 作成)



# 【村内中学校の歴史】

鬼志別中学校	昭和22～60	拓心中学校へ
知来別中学校	//	//
浅茅野中学校	//	//
浜猿払中学校	昭和22～58	鬼志別中学校へ
上猿払中学校	昭和26～42	浅茅野中学校へ
石炭別中学校	昭和27～41	上猿払中学校へ
狩別中学校	昭和28～51	浜猿払中学校へ
小石中学校	昭和36～48	鬼志別中学校へ
拓心中学校	昭和60～	

# VIII 校舎平面図



# VII 日課表・授業時数・授業日数

【日課表】

職員打合せ	08:00～08:10
生徒登校	～08:10
朝読書	08:10～08:20
朝の会	08:20～08:30
1時間目	08:35～09:25
2時間目	09:35～10:25
3時間目	10:35～11:25
4時間目	11:35～12:25
給食・歯磨き	12:25～12:55
昼休み	13:00～13:15
5時間目	13:20～14:10
6時間目	14:20～15:10
清掃	15:10～15:25
帰りの会	15:25～15:30
生徒下校	15:30
休憩	15:30～16:15
職員打合せ	16:15～16:30
職員退勤	16:30
下校バス	① 15:50
	② 夏 18:00 冬 17:15

【標準授業時数】

	1年	2年	3年
国語	140	140	105
社会	105	105	140
数学	140	105	140
理科	105	140	140
音楽	45	35	35
美術	45	35	35
保健体育	105	105	105
技術・家庭	70	70	35
外国語	140	140	140
道徳	35	35	35
総合	50	70	70
特別活動	35	35	35
合計	1015	1015	1015

【授業日数】

1年	2年	3年
204	197	

1学期始業式・入学式(4/7)  
夏季休業(7/23～8/16)  
冬季休業(12/24～1/17)  
卒業式(3/12)  
修了式(3/23)